

第16期 中間

ナブテスコ通信

2018年1月1日から2018年6月30日まで

INDEX

トップメッセージ 01

**事業活動を通じて
企業価値向上に努めるとともに、
ESG課題の解決に寄与してまいります。**

CSRへの取り組み 04

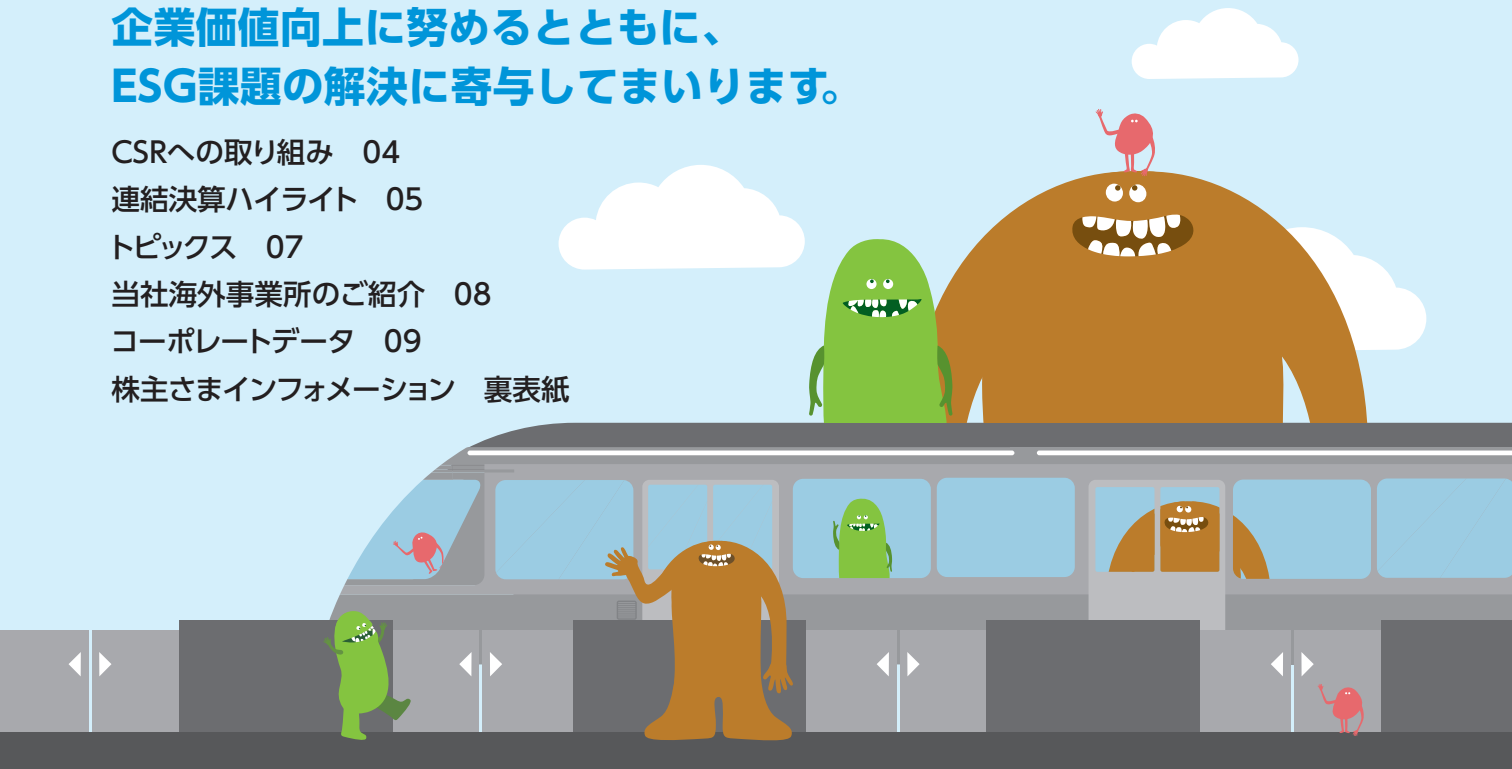
連結決算ハイライト 05

トピックス 07

当社海外事業所のご紹介 08

コーポレートデータ 09

株主さまインフォメーション 裏表紙



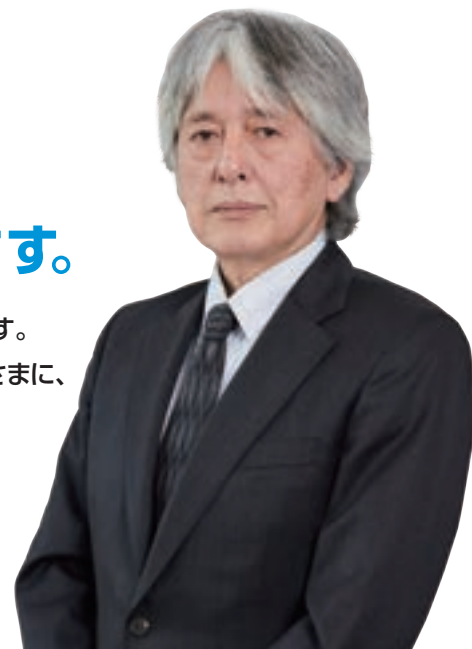
ナブテスコ 株式会社

証券コード:6268

事業活動を通じて 企業価値向上に努めるとともに、 ESG課題の解決に寄与してまいります。

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。
また、このたびの大阪府北部地震および平成30年7月豪雨で被災された皆さまに、
謹んでお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復旧を
心よりお祈り申し上げます。

代表取締役社長
最高経営責任者 (CEO) 寺本克弘



長期ビジョン 2020年度の目指す姿

グローバルに成長し続ける ベストソリューションパートナー

中期経営計画基本方針

2020年度の目指す姿の実現に向けて、次の方針のもと、戦略を実行していきます。

「Move forward! Challenge the future!」

～Create “New Value 2020”～

当第2四半期連結累計期間の業績および 通期業績予想について

当社グループの第16期(2018年12月期)第2四半期連結累計期間の業績は、精密減速機の売上が堅調に推移したことに加えて、中国市場における建設機械向けが好調を維持したことにより、売上高は、1,425億5千5百万円(同期比6.9%増)となりました。受注高は、1,455億6千万円(前年同期比1.9%減)となりました。

営業利益は、連結子会社OVALO GmbHに係るのれんの減損損失を計上した結果、63億8千7百万円(同53.6%減)となりました。税引前四半期利益は、持分

法による投資利益が増加したことにより、130億3千8百万円(同23.3%減)となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は78億8千6百万円(同36.9%減)となりました。

第16期(2018年12月期)通期の連結業績については、上記の第2四半期連結累計期間の業績および今後の動向等をふまえ、期初の業績予想数値を修正し、売上高は、3,070億円(前期比8.7%増)、営業利益は、250億円(同15.2%減)、税引前当期利益は、336億円(同3.7%減)、親会社の所有者に帰属する当期利益は、236億円(同6.1%減)を見込んでいます。

中長期的な会社の経営戦略

1 「Market Creation」による新事業の創出

- ・ M&Aの活用も含め、海外展開を一層推進します。
- ・ ICT/IoTなど先端技術を活用し、アフターサービスビジネス (MRO) をさらに強化・拡大します。

2 「Technology Innovation」による新たなソリューションの創造

- ・ コンポーネントからシステム・ソリューション提供へ事業領域を拡大します。
- ・ 新工法開発など「ものづくり革新」により製品の新たな競争優位を確立します。
- ・ 国内工場の近代化/スマート化により高効率生産・高環境性能・快適労働環境を実現します。

3 「Operational Excellence」による収益性・効率性の向上による企業価値向上

- ・ 生産改革/業務改革によりオペレーション基盤を強化し、収益力を向上します。
- ・ 事業運営の効率化と、事業間のシナジー創出を追求します。
- ・ 社内の管理指標にROIC(投下資本収益率)を導入し、資本効率を高めながら、着実にキャッシュを創出します。
- ・ 安定的に連結配当性向35%以上を維持し、機動的な株主還元を実施します。
- ・ 成長投資として、1)国内工場近代化・増産対応の実施、2)研究開発の推進、3)戦略的M&Aに備えた資金準備に取り組みます。



2020年度を最終年度とする 中期経営計画について

昨年度から始動した中期経営計画では、経営戦略「Market Creation」「Technology Innovation」「Operational Excellence」に三位一体で取り組むことを掲げています。「Market Creation」、「Technology Innovation」では、今年6月にNabtesco Technology Ventures AGをスイスに設立し、コーポレート・ベンチャーキャピタル業務を通じて共創先スタートアップの革新的なテクノロジーを取り込んだ事業ポートフォリオの構築を図っています。「Operational Excellence」では、2020年目標として、生産性向上10%(年率2.5%)を掲げ、高自動化による機械加工製造の生産性向上を絶えず継続してまいります。

中期経営計画では、「ROE15%達成」「連結配当性向35%以上」「ESG課題の解決に注力」をコミットメントとしております。

ROEにつきましては、今期末13.5%を計画しており、

中期経営計画期間中における15%の達成に努める所存です。

配当につきましては、通期配当予想を1株当たり73円(前期比1円増配)といたしました。なお、当中間配当につきましては、1株当たり36円とさせていただきます。この結果、通期連結配当性向は38.3%となる予定であり、今後も35%以上の配当性向を継続してまいります。

ESG課題の解決につきましては、マテリアリティ(重要なCSR課題)の一つである、「地域社会の発展」に向けて、「ナブテスコグループ企業市民活動方針」を制定いたしました。今後も企業市民活動の積極的な推進により、地域社会の発展に貢献しながら、地域社会との信頼関係の構築に取り組んでまいります。

当社グループは、中期経営計画の着実な遂行により「利益ある成長」を維持しつつ、次の飛躍に向けて事業領域の拡大を図ってまいります。株主の皆さまにおかれましては、今後とも当社グループへの変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

中期経営計画でのコミットメント

1 コミットメント

「ROE15%達成」 「連結配当性向35%以上」 「ESG課題の解決に注力」

2 2020年度参考値

*経済環境に大きな変化がないことを前提にした、中期経営計画遂行による連結業績参考値

ROE15%達成時に想定されるその他の経営指標(参考値)

売上高：3,300億円 営業利益率：12.5% 当期利益：300億円 ROA：9.0%

(親会社の所有者に帰属する当期利益)

CSRへの取り組み



「ナブテスコグループ企業市民活動方針」の制定

当社グループは、2018年度に「ナブテスコグループ企業市民活動方針」を制定し、マテリアリティ(重要なCSR課題)の一つである「地域社会の発展」に関して、グループ横断的な企業市民活動を戦略的に展開していくための考え方を整備しました。

策定した方針では、企業市民活動が企業理念、ナブテスコの約束、行動指針、行動宣言からなる「ナブテスコ ウェイ」の実践として、事業を展開する地域において、事業と関わり深い分野で、地域コミュニティとの交流・連携を推進することを明文化しています。

「地産地消」の生産体制確立による地域経済発展への寄与、製品・サービスの提供を通じた社会課題の解決に加えて、企業市民活動を積極的に推進しています。

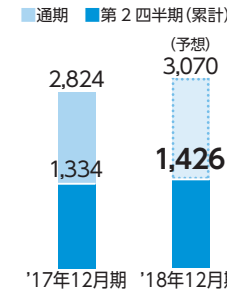
ナブテスコグループ企業市民活動方針

活動方針	私たちナブテスコグループは、「ナブテスコ ウェイ」の実践を通じて、地球環境の保全や地域・文化との調和を図ります。事業を展開する地域において、事業と関わり深い分野で、地域コミュニティとの交流・連携を積極的に推進します。		
活動目的	<ul style="list-style-type: none"> ● グローバルな社会課題の解決に貢献すること ● 事業を展開する地域コミュニティにおける社会課題の解決に貢献すること ● 事業と関わりのある分野での社会課題の解決への貢献を通じて、社員のチャレンジ精神や変革意識を醸成すること ● 社会課題の解決への貢献を通じて、当社グループのブランド価値のさらなる向上を図ること ● これらを踏まえ、地域社会とナブテスコグループが相互に発展し、長期的に信頼関係を構築すること 		
活動分野	当社事業との関連性	対応するマテリアリティ	対応するSDGs*
環境	<ul style="list-style-type: none"> ● ものづくりを通じた環境負荷低減への貢献 ● 地球規模・事業展開地域の環境問題への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ● 気候変動問題の対応 ● 環境に配慮したものづくり ● 製品・サービスによる環境影響の緩和 ● 製品リサイクル・再利用・製品再生 	
教育	<ul style="list-style-type: none"> ● 当社事業による知見やリソースを活かした次世代育成 ● サプライヤーとの協働によるバリューチェーンの強化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 人材育成とダイバーシティ ● 地域社会の発展 ● 公平・公正・公明な調達活動 	
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ● 福祉機器事業を通じた地域コミュニティ活性化 ● 事業展開地域でのダイバーシティや社会参画の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域社会の発展 ● 人材育成とダイバーシティ ● 安全で働きやすい職場の確保 	

*SDGsとは、2030年までの世界の持続的な発展を目指して、2015年9月に国際連合にて193カ国全会一致で採択された「2030アジェンダ」の中で掲げられている「持続可能な開発目標」です。世界が抱える社会課題の解決のためのあるべき姿を明らかにし、共通するグローバル・アジェンダとして17の目標・169のターゲットが設定され、具体的な達成基準が盛り込まれています。

連結決算ハイライト

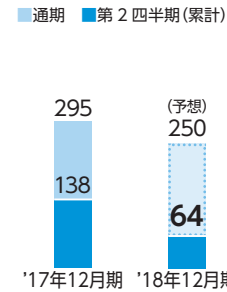
売上高



1,426 億円

精密減速機の売上が堅調に推移したことに加えて、中国市場における建設機械向けが好調を維持し、前年同期比増収となりました。

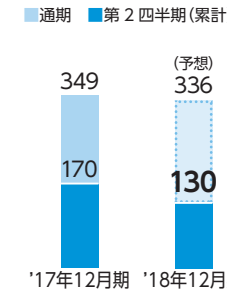
営業利益



64 億円

売上原価が1,046億円、販売費及び一般管理費が269億円、その他収益が9億円、その他費用が56億円になったことにより、営業利益は64億円となりました。

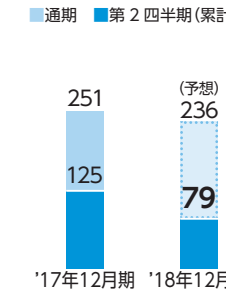
税引前四半期(当期)利益



130 億円

金融収益が5億円、金融費用が8億円、持分法による投資利益が70億円になったことにより、税引前四半期利益は130億円となりました。

親会社の所有者に帰属する四半期(当期)利益

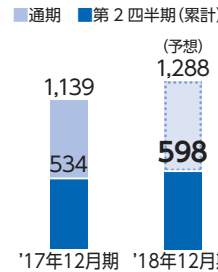


79 億円

法人所得税費用が42億円、非支配持分に帰属する当期利益が9億円になったことにより、親会社の所有者に帰属する四半期利益は79億円となりました。

事業別概況

コンポーネントソリューション事業



売上高 598 億円
前年同期比 12.0%増

事業内容
精密減速機、建設機械用走行ユニット

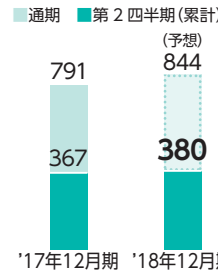
当第2四半期(累計)のポイント

- 精密減速機は生産設備の自動化・省人化ニーズにより堅調に推移し、売上高は横ばい
- 油圧機器は中国市場や新興国における建設機械需要の高まりにより増収

見通し

- 精密減速機は堅調に推移し増収
- 油圧機器は当第2四半期までの売上増加と好調な需要の継続により増収

トランスポートソリューション事業



売上高 380 億円
前年同期比 3.6%増

事業内容
鉄道車両用ブレーキ・ドア装置、航空機用フライト・コントロール・アクチュエーション・システム、商用車用エアブレーキ装置、船用エンジン制御装置など

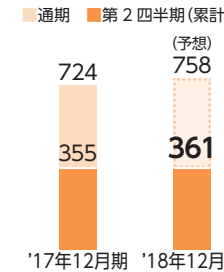
当第2四半期(累計)のポイント

- 鉄道車両用機器は堅調な国内向けと中国地下鉄向けの増加により増収

見通し

- 鉄道車両用機器は中国高速鉄道向けの受注停滞を地下鉄向けで補い増収
- OVALO GmbHのプロジェクト遅れが影響するも、各事業とも期首計画並みの売上を見込む

アクセシビリティソリューション事業



売上高 361 億円
前年同期比 1.5%増

事業内容
建物用自動ドア、鉄道用プラットフォームドアなど

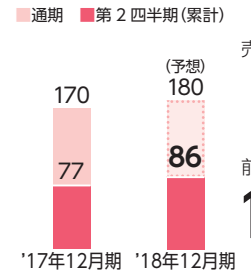
当第2四半期(累計)のポイント

- 自動ドア事業は建物用ドアの売上減少をプラットフォームドアで補い増収

見通し

- 自動ドアはプラットフォームドアにより増収

その他



売上高 86 億円
前年同期比 12.2%増

事業内容
包装機、専用工作機械、3Dプリンター、真空機器など

当第2四半期(累計)のポイント

- 包装機は国内外食品向けが堅調に推移し増収

見通し

- 包装機は国内食品向けや海外市場の開拓で増収

* 当社の連結財務諸表は、国際財務報告基準(IFRS)に基づいて作成されています。
* 金額、比率その他の数字に係る表示単位未満の端数について、四捨五入しております。

トピックス

2018年4月 アシックス社と研究分野で連携

当社とアシックス社は、障がい者のスポーツ実施率向上や高齢者の運動促進のため、義足装着者用スポーツシューズの研究開発や歩行車利用者の運動量計測の検証などの研究分野で連携することになりました。アシックス社がつかってきた知的技術と当社のモーションコントロール技術を活用することで、スポーツ・健康促進分野における新たな価値創造を目指すとともに、それぞれの商品の機能向上の可能性を検証してまいります。



試作品の着用例



多機能歩行車「コンパル」

2018年4月 東洋自動機が「国土強靱化貢献団体認証(レジリエンス認証)」を取得

包装機事業を手掛ける当社グループ会社である東洋自動機(株)の岩国工場が、平成29年度第3回認証審査において、国土強靱化の趣旨に賛同し、事業継続への取り組みを積極的に行っている企業として、当社グループ初の「国土強靱化貢献団体認証(レジリエンス認証)」を取得いたしました。今後は現在推進している「実効性のあるBCP(事業継続計画)の再構築」に努め、主要な全事業拠点で本認証取得を目指してまいります。



2018年4月 平成30年度「知財功労賞」を受賞

当社は、経済産業省特許庁が実施している平成30年度「知財功労賞」において、経済産業大臣表彰を受賞しました。この受賞は、当社がこれまで継続的に取り組んできた全社的な知財経営戦略活動における、IPランドスケープを活用した技術マーケティングの実行や、事業のコア価値獲得・強化策とその知財戦略の実践を評価いただいたものです。今後も引き続きグローバルに知財経営戦略を展開し、事業競争力の強化や企業価値の向上を推進してまいります。

2018年6月 コーポレート・ベンチャーキャピタルを設立

当社は、コーポレート・ベンチャーキャピタル(以下、CVC)業務の中核を担う Nabtesco Technology Ventures AG(以下、NTV)を設立しました。また、20年に亘るコーポレート・ベンチャーリングの経験や欧米を跨いだグローバルなプレゼンスを持つEmerald Technology Ventures(以下、Emerald)との間で、スタートアップと戦略的パートナーシップを構築しました。NTVは、Emeraldの包括的な支援を受けながらスタートアップへの投資を通じて、当社グループとの間の共創を支援し、オープンイノベーションをグローバルに加速してまいります。

2018年6月 『ナブコの日』が記念日に登録

7月25日を『ナブコの日』として一般社団法人日本記念日協会に記念日登録されました。毎日の生活の中でナブコ自動ドアをご利用いただいている皆さまへの感謝の気持ちをお伝えするとともに、“だれにとっても”安全・安心・快適な自動ドアをご提供し続けたい、というわれわれの想いをより多くの皆さまに知っていただきたいとの願いをこめて、『ナブコ(725)』の語呂合わせにちなんで7月25日を『ナブコの日』としました。



自動ドアステッカー

当社海外事業所のご紹介 vol.7

全3回にわたってお届けする
中華人民共和国の事業所について、
最終回となる今回は3つの事業所をご紹介します。

中華人民共和国

上海納博特斯克船舶機械有限公司

上海納博特斯克船舶機械有限公司は、2013年4月に中国において、船用制御装置の設計・製造・販売・アフターサービスを行う製販一体の戦略拠点として設立されました。顧客ニーズにきめ細かく対応することにより、ナブテスコグループの利益ある成長に寄与します。

事業内容 中国における船用制御装置の設計・製造・販売・アフターサービス。
所在地 上海市奉賢区



上海納博特斯克管理有限公司

上海納博特斯克管理有限公司は、2011年7月に中国におけるナブテスコグループの事業活動を支援する本社スタッフサービス拠点として設立されました。現在、各グループ会社に対し、IT・財務(資金調達)・法務・人事労務・調達と、幅広い分野でサポート業務を提供しており、今後も中国地域での事業発展を支えてまいります。

事業内容 ナブテスコグループの中国事業展開支援。
所在地 上海市浦東新区



大連東洋自動機包装設備有限公司

大連東洋自動機包装設備有限公司は、2011年1月に中国をはじめ世界的な自動包装設備等の需要拡大に対応するため、東洋自動機株式会社の初の海外製造拠点として大連市経済技術開発区に設立されました。現地ニーズに応える製品と質の高いサービスをお届けすることで、お客様の期待に応えてまいります。

事業内容 各種包装機の製造・販売・保守サービス。
所在地 遼寧省大連市経済技術開発区



コーポレートデータ

会社概要 (2018年6月30日現在)

会社名	ナブテスコ株式会社	従業員数	単体 2,309人 連結 7,725人
設立	2003年9月29日	連結子会社	国内14社 (他持分法適用会社4社) 海外45社 (他持分法適用会社4社)
所在地	東京都千代田区平河町二丁目7番9号		
資本金	100億円		



役員 (2018年7月1日現在)

取締役会		業務執行体制	
取締役会長	小谷和朗	社長	寺本克弘 最高経営責任者(CEO)
代表取締役	寺本克弘	常務執行役員	十萬真司 精機カンパニー社長 兼 ものづくり革新担当
代表取締役	十萬真司	常務執行役員	箱田大典 企画、経理、情報システム、コーポレート・コミュニケーション、人事管理
代表取締役	箱田大典	常務執行役員	上仲宏二 住環境カンパニー社長
取締役	上仲宏二	常務執行役員	伊牟田幸裕 業務改革推進室長
取締役	橋本悟郎	常務執行役員	釣泰造 船用カンパニー社長
取締役	秋田敏明	常務執行役員	直樹茂 鉄道カンパニー社長
社外取締役	藤原裕	執行役員	橋本悟郎 総務、法務・コンプライアンス管理
社外取締役	内田憲男	執行役員	秋田敏明 技術本部長
社外取締役	山崎直子	執行役員	國井重人 住環境カンパニー副社長 海外事業担当
		執行役員	小川道雄 ナブテスコオートモーティブ(株)代表取締役社長
		執行役員	安藤清 技術本部 副本部長 インノベーション推進担当 先端モビリティシステム推進室長
		執行役員	高木憲優 航空宇宙カンパニー社長
		執行役員	伊集院正二 鉄道カンパニー副社長 営業担当
		執行役員	北村明義 東洋自動機械代表取締役社長
		執行役員	波部敦 精機カンパニー副社長 兼 営業統括部長
		執行役員	木村和正 パワーコントロールカンパニー社長
		執行役員	栄藤忠重 ナブテスコサービス(株)代表取締役社長
		執行役員	清水功 ものづくり革新推進室長
		執行役員	中野宏司 上海納博特斯克液压有限公司総経理
		執行役員	井上中 ナブテスコオートモーティブ(株)取締役副社長
		執行役員	水谷幸弘 住環境カンパニー 国内事業担当 兼 商品企画部長
		執行役員	高橋誠司 人事部長 兼 業務改革推進室 兼 ナブテスコリンク(株)代表取締役社長

監査役会

監査役	大西隆之
監査役	井奥賢介
社外監査役	片山久郎
社外監査役	佐々木善三
社外監査役	長坂武見

株式状況 (2018年6月30日現在)

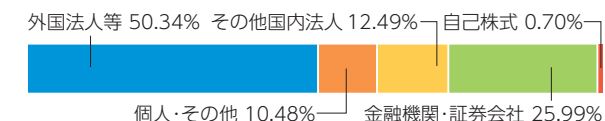
発行済株式の総数	125,133,799株
株主数	22,701名

大株主 (2018年6月30日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	7,086	5.71
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,489	5.23
東海旅客鉄道株式会社	5,171	4.17
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,992	4.02
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	3,886	3.13
ファナック株式会社	3,760	3.03
BNP PARIBAS SEC SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/ ABERDEEN GLOBAL CLIENT ASSETS	3,734	3.01
株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ	3,265	2.63
JP モルガン証券株式会社	2,117	1.70
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	2,094	1.69

* 持株比率については、自己株式を控除して算出しております。

所有者別株式数比率 (2018年6月30日現在)



株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月下旬

基準日 定時株主総会・期末配当
毎年12月31日
中間配当
毎年6月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 ☎0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の
本店および全国各支店で行っております。

■ 住所変更、単元未満株式の買取・買増などのお申出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。なお、特別口座で管理されている株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■ 未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■ 「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主さまにつきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社などにて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主さまにつきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主さまは大切に保管ください。

株主さまインフォメーション

株主さまアンケート集計結果ご報告 アンケートにご協力いただきありがとうございました

前回の株主通信に同封しましたアンケートに、3,195名の方からご回答をいただきました。今後の経営・IR活動に役立ててまいります。アンケートの結果の一部をご報告いたします。

Q. 当社の株式を購入した理由 (複数回答)



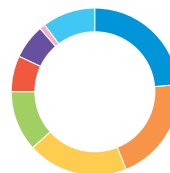
将来性	33.1%
事業内容	23.0%
収益性	11.6%
安定性	8.1%
財務内容・業績	7.0%
配当	5.6%
証券会社の推薦	3.5%
株価の割安感	2.9%
経営理念	2.6%
知名度	1.4%
相続	1.3%

Q. 今後の当社株式の保有方針について



長期保有(3年以上)	65.0%
中期保有(1~3年未満)	15.3%
短期保有(1年未満)	1.7%
買い増し	6.8%
全部売却	2.1%
一部売却	0.9%
未定	8.1%

Q. 当社を知ったきっかけは何ですか



新聞・雑誌記事	23.7%
会社四季報・会社情報	20.3%
証券会社	19.4%
株式情報サイト	11.6%
知人・友人の紹介	6.9%
テレビCM	6.7%
当社ホームページ	1.1%
その他	10.2%

その他、当社事業に関するさまざまなご意見、広告のご感想、そしてたくさんの応援メッセージをいただきました。なお、当社ノベルティセットは7月中旬より、アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で300名様にお送りさせていただきます。

IRカレンダー

2018年			2019年		
10月	11月	12月	1月	2月	3月
第3四半期決算発表			通期決算発表		
第16回定時株主総会					

ウェブサイトのご案内

<http://www.nabtesco.com>

当社Webサイトでは、当社に関するさまざまな情報を発信しています。

ナブテスコ 検索

ナブテスコ 株式会社

〒102-0093 東京都千代田区平河町二丁目7番9号
TEL:03-5213-1133 FAX:03-5213-1171

UD
FONT

ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C022915

VEGETABLE
OIL INK